

部会の取り組み
<p>相談支援部会</p> <p>学齢期の家庭支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者を委員に加え、課題共有、連携強化を図った。 ・事例検討、意見交換等を行い、ライフステージにおける課題等について検討を行った。 <p>障害者虐待防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年10月施行の「障害者虐待防止法」施行にあわせ、H23年度は高齢者分野の虐待防止システムを知る機会を作った。 ・H24年度は、地域の課題解決のためのネットワーク作りと相談支援従事者の技量アップを目的に、専門家のスーパーバイザーを招き、事例検討を行った。 <p>高齢障害者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア24との交流会を実施し、介護保険法と自立支援法両方を併用する事例や虐待事例の検討をし、高齢者支援者との課題共有を行った。
<p>地域移行促進部会</p> <p>地域移行支援・地域定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、障害者の地域移行・地域定着における課題抽出及び解決手段を提案としてまとめた。H24年度は、地域移行支援・地域定着支援が個別給付化されるにあたり、課題整理及び必要な事項の検討をし、提案としてまとめた。 <p>地域医療についての取組について</p> <p>昨期作成した「健康ノート」について内容検討チームを作り、改良を行い配布した。また、部会と地域の医療機関との懇談会を実施し、両者の立場で抱える課題を確認した。</p>

協議会で論議・確認したこと
<p>自立支援協議会の運営</p> <p>自立支援協議会のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会での議論の取り扱いについては、幹事会を活用し、本会の前後に課題の整理及び今後の方向性の検討を行うこととした。 ・「部会の数の少なさ」「就労」「当事者の参加」について課題としてあがった。総合支援法の施行や区の相談支援体制が大きく変わることも踏まえながら、今後の検討が必要。 ・「講演とシンポジウム」を平成23年度と24年度に実施した。アンケートからは地域の自立支援協議会に対する期待の声が聞かれ、自立支援協議会の周知、地域の課題を地域と共に考える仕組みとしてとても有効であった。 <p>地域における課題</p> <p>地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育と福祉との連携の不足」についての課題があがった。相談支援部会では、学校関係者を委員に加え、教育と福祉の情報共有・連携強化を図り、学校における取組(生徒の個別支援会議)の活性化につながった。 <p>障害者虐待防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のシステムについては、自立支援協議会の役割として、システム全体のあり方を考えたり、バックアップしたりする場となりうると確認。平成24年度には、法制化に向けて区に担当部署ができ、自立支援協議会や相談支援部会等の意見を参考にしながら、マニュアル作成やシステム作りを行った。 ・高齢者や児童の分野との連携が必要と確認した。相談支援部会では、児童の支援関係者を交えて事例検討を行い、課題共有・連携強化を図った。高齢者分野については、ケア24との交流会を行い、課題共有・連携強化を図った。協議会や部会等の意見を踏まえ、高齢、児童の虐待防止の所管課と障害者分野の担当で連絡調整会議を設置することとなった。 ・学校、病院での虐待への対応については、区は法対象外という理由で放置はしないことを確認した。今後も継続していく課題。 <p>学齢期の家庭支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童期の社会資源の少なさが課題としてあげられた。協議会では連携を強化する等少ない資源を有効に使うための方法を議論していく必要があると確認した。 <p>新しい相談支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画対象者拡大について、区は進捗状況等を協議会や部会に報告し、意見交換を行った。サービス等利用計画が有効に活用されるために、相談支援事業所の質の向上や評価方法の内容の検討が必要ということを確認した。また、当事者にわかりやすいような説明のしかたや、当事者の意見を踏まえた計画作成の必要があることを確認した。 ・国の制度が新しい仕組み(指定特定・一般・障害児相談支援)になることを受け、考えられる課題について意見交換を行った。又それにともなって新たに構築した新しい相談支援体制についても意見を交換した。 <p>地域移行支援・地域定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行促進部会での議論で、「見守り支援・金銭管理」が重要でマンパワーが不足しているという現状が報告された。それを解消する取組として、「訪問看護を使ったアウトリーチ」という取組についての提案があったが、課題が多く、再度検討が必要との確認をした。 ・地域移行促進部会で新しく制度化した「地域移行支援」「地域定着支援」のサービスを実施する上での課題整理や対象となる人のイメージ、実際にサービスを効果的に使うため方法等を検討したものを協議会に提案(主に精神障害者について)し、区で作成する「障害福祉サービス等支給ガイドライン」の参考とすることとなった。 <p>保健福祉計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三期障害福祉計画策定にあたり、第一期から現在まで議論してきた課題についてまとめ、意見として杉並区障害者福祉推進協議会計画部会に提出した。 <p>障害福祉サービスの組み合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所支援と就労継続支援及び区分3以下の方の生活介護の併用について、事案が発生したときには、協議会の意見を踏まえて支給決定し、その結果を報告することとすることを確認した。

今後検討の必要がある課題
<p>自立支援協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の数・就労の課題検討の場・本人参加の機会の少なさへの対応 ・シンポジウムの継続実施 <p>地域における課題</p> <p>相談支援部会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待防止システムの課題の確認と他分野(高齢・児童)との連携強化 ・社会資源や余暇活動等をもっと使いやすくする方法 ・地域での教育・福祉の連携の強化と繋ぎ目のない支援の在り方 ・学齢期の社会資源の少なさへの対応 ・グループホームの質の確保 ・サービス等利用計画の質の確保(相談支援事業所のサービスの質の確保)・評価方法の検討 <p>地域移行促進部会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域定着支援に必要な「見守り支援・金銭管理」をどのように行うか ・地域移行支援・地域定着支援について知的・身体障害についての課題検討 ・医療と福祉分野の連携強化 <p>意見として出た課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労システムの強化 ・重度の医療的ケアにある方への支援 ・発達障害者への支援 ・触法障害者への支援 <p style="text-align: right;">等</p> <p>課題解決までに至っていない</p> <p>第4期自立支援協議会に向けて</p>

